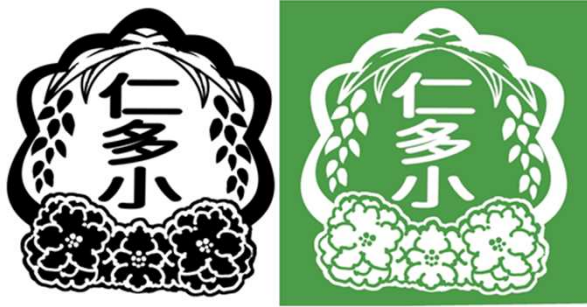


1次選考結果

【資料2】

No.1
8票



校章デザインの説明 (理由・意味等)	奥出雲の深い山々に囲まれ名産の仁多米の稲と穂のモチーフを入れ町の花のシャクナゲをデフォルテしてデザイン致しました。花は桜と迷いましたが雲南が桜の為、奥出雲のシャクナゲを。稲穂は上を向いていた方が理想だと思いましたが、『実るほど頭を垂れる稲穂かな』と言うことわざを知り『知識や徳を積んだ人ほど謙虚な人間になること』とございましたのと個人的にデメリットをお持ちの子でも楽しい学校生活をとデザインしました。
-----------------------	--

【1次選考投票理由】

- ・奥出雲町の名産品、自然がデザインに凝縮され、校章からこういった町かイメージできる
- ・シャクナゲを除いた方がよいと思う。
- ・仁多小だと分かりやすく、デザインに込めた意味も良かった。
- ・形やしゃくなげの部分など、もう少しシンプルなデザインだと更に良いと思う。
- ・仁多小＝仁多米と結びつき愛着を感じたから。
- ・仁多米(稲穂)とシャクナゲのモチーフがよくまとまっている。

No.3
4票



校章デザインの説明 (理由・意味等)	6つの花びらは、6校から集まったハート(ハート＝心)
-----------------------	----------------------------

【1次選考投票理由】

- ・シンプルで、デザインに込めた意味も良かった。
- ・このデザインでは小学校がどうか分からないが問題ないか。問題なければこのままで良いと思う。
- ・仁多地区の小学校が集合したような形の校章が良いと思い選びました。

No.2
1票



校章デザインの説明 (理由・意味等)	六この学校があつまつたから、六このハートと、ろっかつ(丸)をあらわしました。
-----------------------	--

No.4
7票



校章デザインの説明 (理由・意味等)

奥出雲町は、たたら製鉄が栄えた町というイメージがありましたので全体をたたらに関するものにした。

上部真ん中には炎を配置し、たたら製鉄を連想させるものとし、今回6つの小学校が統合することもあり6本の木を配置し成長の象徴を表現しました。

たたら製鉄でも重要だった木を燃やし成長変化をして欲しいと願いを込めました。

また、鉛筆のシルエットで学習のイメージさせるものとしております。

下部には自然あふれる山と川もたたら製鉄には欠かせないものでしたので配置しました。

フレームは稲穂のシルエットにすることにより、「食」をイメージさせ、食育も重要な学習と考え配置しました。

在校児童、卒業生が世界で活躍して欲しいと願いを込めて、中央にはNITAのNとTを配置し、校章の形もエンブレム風によりグローバル感を出しました。

全体的にシンプルで分かりやすく、小学生でも書き写すことのできるデザインにすることを心掛けました。

【1次選考投票理由】

- ・既存の形にとらわれない斬新なもので、デザインに込めた意味も良かった。
- ・鉛筆のシルエットを外すなど、もう少しシンプルでも良いと思う。
- ・近未来っぽく感じたから。
- ・鉛筆のデザインは要修正。
- ・既存の「校章」のイメージにとらわれない斬新なデザインが良い。ただいろいろな要素を盛り込みすぎてごちゃごちゃしているので、炎と稲穂だけにするなどもっとシンプルにしたほうが良いと思う。

No.5 3票



校章デザインの説明
(理由・意味等)

デザインコンセプト: 奥出雲町の自然豊かな環境と伝統文化を象徴し、地域の誇りを育むデザイン。
デザイン要素:
1. **山と川**:
奥出雲町の自然を象徴するために、山と川のシルエットを配置します。山は力強さと成長を、川は知識と流動性を象徴します。
2. **六角形の枠**:
六角は6地域のバランスを意味し、教育の場としての安定性を表します。この形状は校章全体の外枠として使用します。
3. **松の木のモチーフ**:
松は長寿や不屈の精神を象徴し、学び続ける意欲と学校の歴史の重みを表します。シンプルな松の葉をデザインに取り入れます。
4. **カラーとシンプルさ**:
白黒での使用にも耐えるシンプルな線画で表現します。
デザイン説明
この校章デザインは、奥出雲町の豊かな自然と文化をシンプルに表現し、地域との結びつきと学校の教育理念を具現化しています。シンプルながらも意味深いデザインにすることで、白黒でもイメージが崩れず、長く使用できるものになりました。
注意点:
・校章デザインにはグラデーションを使用しないよう、すべての要素をシンプルな線と塗りで表現しています。
・この校章デザインの一部は生成AI(DALL・E)を使用して作成し、その画像を修正しております。一部類似画像を検索し、調査しましたが、著作権、商標に該当するものはありませんでした。

【1次選考投票理由】

・既存の形にとらわれない斬新なもので、デザインに込めた意味も良かった。

No.6 6票



校章デザインの説明
(理由・意味等)

布勢小学校、三成小学校、高尾小学校、亀嵩小学校、阿井小学校、三沢小学校の六校が統合してできる仁多小学校という事で、今回この六校を合体させた校章デザインにしようと思いました。六校それぞれの校章の一部分を入れてこの六校が統合したようにして外枠に米の模様をつけました。なぜ、米の模様を入れたのかというと、仁多郡では仁多米が有名で仁多というの(こ)一番ゆかりがあると思ったのと、米の象徴が繁栄なのでこの小学校がこの校章とともに繁栄してほしいという思いを入れて米の模様を外枠に取り入れました。

【1次選考投票理由】

・6校のマークを残すという趣旨は面白いと思う。ただ盛り込みすぎてごちゃっとしている。

No.7 6票



校章デザインの説明
(理由・意味等)

仁多といえば仁多米が有名なので、稲穂をモチーフしました。

【1次選考投票理由】

・奥出雲町の名産品である仁多米がモチーフとされ、生徒・地域の方々にも愛着がもてる。
・比較的シンプルで分かりやすい。

No.8 4票



校章デザインの説明
(理由・意味等)

このマークを作るにあたって、仁多といえば仁多米が有名なので一目で仁多とわかるように稲穂をモチーフしました。シンプルかつ、わかりやすさを重要視してつくりました。

【1次選考投票理由】

・仁多米が大胆にデザインされており、他校にはないインパクトがある。

No.9 5票



校章デザインの説明
(理由・意味等)

統一、希望、そして生徒たちの無限の明るい未来を象徴として太陽を表しました。太陽を囲むように配置された6本の光線は、仁多小学校を形成するために統合された6つの学校を象徴しています。この光線は、学校の団結とその集団の力を示しています。校章には、仁多の美しい山々も描かれており、この地域の自然環境とコミュニティの豊かな遺産とのつながりを強調しています。黄色は喜び、幸福、エネルギーを象徴し、学校と生徒たちの活気ある精神を反映しています。緑色は快適さと仁多の豊かな緑を表し、学びの場としての調和と育成の環境への学校のコミットメントを強調しています。

【1次選考投票理由】

- ・統合された6つの学校がデザインに象徴され、6校に携わってきた方々の想いも込められる。
- ・デザインに込めた意味が良かった。
- ・小の字が見えにくいので、山の位置などを調整した方が良い。

No.13 2票



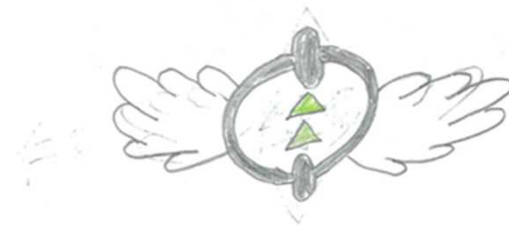
校章デザインの説明
(理由・意味等)

六校が集まるので、六まいのクローバーのデザインにしました。

【1次選考投票理由】

- ・仁多地区の小学校が集合したような形の校章が良いと思い選びました。
- ・6校統合という意味合いをシンプルにまとめていて良いと思う。

No.10 2票



校章デザインの説明
(理由・意味等)

真ん中のマークは仁多町だったときの町章を入れました。仁多小学校が上へと羽ばたいて行くように羽を付けました。

【1次選考投票理由】

- ・比較的シンプルで分かりやすく、デザインに込めた意味も良かった。
- ・翼の付いた斬新な形に惹かれた。新しい学校になり未来にはばたくイメージができるので良いと思う。仁多町の町章を使うと、「奥出雲町」としていま町全体で取り組んでいることに逆行するように思うので、真ん中部分は旧仁多町町章をやめ「仁」の文字などを入れるとよいと思う。

No.17 1票



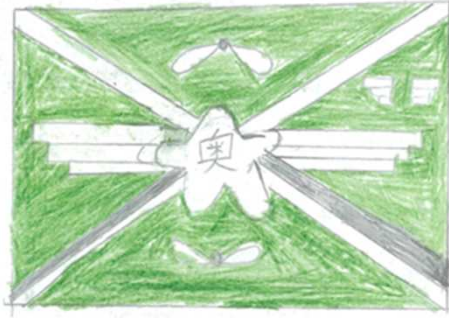
校章デザインの説明
(理由・意味等)

多様な学校をイメージしました。

【1次選考投票理由】

- ・なかよく学ぶ学校というイメージが浮かぶので。

No.18
1票



校章デザインの説明 (理由・意味等)	それぞれの学校の校章をアレンジして書いて、みんな仲良く過ごせるようにと思い書きました。そしてつばさを書いた理由は、みんな未来に向かって飛び立ってほしいと思いました。
-----------------------	--

【1次選考投票理由】

・6校の校章の配置がごちゃっとしているのが難だが全体的な形は面白いと思った。

No.27
4票



校章デザインの説明 (理由・意味等)	5つの地域が1つになり、力を合わせて良い小学校になっていくように美しく明るく咲きかわせる桜をイメージした。(花びら一枚一枚が組み合わされて桜となる)
-----------------------	--

【1次選考投票理由】

- ・比較的シンプルで分かりやすく、デザインに込めた意味も良かった。
- ・統合は6校だが5つの地域として考える形でよいのかは確認したほうが良いと思う。
- ・仁多地区の小学校が集合したような形の校章が良いと思い選びました。

No.21
1票



校章デザインの説明 (理由・意味等)	校章でどの学校がわかりやすいように「仁小」とかきました。文字のまわりは6校の学校が集まるので六角形のようにしました。
-----------------------	--

No.28
3票



校章デザインの説明 (理由・意味等)	仁多米が有名なので、6校の統合なので六粒にしました。
-----------------------	----------------------------

【1次選考投票理由】

- ・奥出雲町の名産品と統合された6校がデザインに表現されており仁多地区の統合校としてのスタートに適している。

No.34

1票



校章デザインの説明 (理由・意味等)	りゆうは仁多があつまるから仁小にして、みなりにあるかあらみなり ベースにしました。
-----------------------	--

No. 39

2票



校章デザインの説明 (理由・意味等)	仁多の美しい自然(斐伊川と各地区を代表する山)を守りたいと思った。 そしてカタカナの二つの字を入れた。
-----------------------	--

【1次選考投票理由】

- ・比較的シンプルで分かりやすく、デザインに込めた意味も良かった。
- ・小の字はもう少しはっきり表しても良いと思う。
- ・地域の自然を学校のシンボルにしたいという子どもの気持ちが伝わるように思ったので。

No.37

1票



校章デザインの説明 (理由・意味等)	仁多米をデザインに取り入れました。 いねで「仁」「多」をあらわしています。
-----------------------	--

No.40

5票



校章デザインの説明 (理由・意味等)	6校の子供達が仁多小学校を学舎として1つとなり、自然豊かなふるさとで天高くのびのびと成長できますように！
-----------------------	--

【1次選考投票理由】

- ・デザインに込めた意味が良かった。
- ・星や稲穂の部分が細かく見えるので、もう少しシンプルでも良いと思う。
- ・6つの星で6校統合のイメージを表したところが良かった。

No.42
1票



校章デザインの説明 (理由・意味等)	6つの小学校が統合するので、丸が6個集まった形。三成・高尾・亀高・阿井・三沢・布勢小を丸で表し、6つの玉が集まって花の形をつくっている。中の仁多小の文字も6つの玉で表し、玉のパワーが集まって花が開くイメージ
-----------------------	---

No.43
2票



校章デザインの説明 (理由・意味等)	ひし形は、大地のエネルギーを秘めていると言われている。ひし形のエネルギーを土台にして、三成・高尾・布勢・三沢・阿井・亀高小が力を合わせて、新たな仁多小学校を形成する。
-----------------------	---